



あさひ14号

2019年(令和1年)

10月16日発行

福山市立旭小学校長

池田 恭子

川原先生の講話より(特活授業研)

○特活は「決める」ことが大切

- ・スローガン等が決まったら良しではない。それを通して何を意識させるかが大切。
- ・自分事にすることを意識させる。



○身の丈に合った議題の設定

- ・季節の行事、お楽しみ会、交流会などは子どもたちから発せられる議題なので意欲的に活動する。
- ・道徳の授業や日ごろの指導と関連させて、心を耕しておく、係活動の改善やあいさつ等も真剣に考えることができる。
(例 道徳の授業「よりよい学校生活、集団生活の充実」
⇒特活「音楽発表会の合言葉を決めよう」)
- ・ねらいを明確にする。⇒ どんな方法がよいかおのずと考えられる。
(例 お互いをよく知る、学級の雰囲気をよくする等)

○1, 2, 3をバランスよく

学級会1・・・学級や学校生活をよりよくするために、課題について話し合い協同して取り組む等自治的能力を育てる。(合意形成)

学級会2・・・課題をつかみ、自分の成長のための具体的目標や解決策を決める。(自己決定)

学級会3・・・将来に向けて「なりたい自分」をイメージし、より良く生きるための目標や具体的方法を決める。(自己決定)

(2と3を一緒にすることもできる)

- ・道徳も含めてバランスよく配置する。



○学級活動は段取り8分

- ・ワークシートは重要。事前に誰がどんな意見をもっているかを知ることができる。
- ・それを元に、計画委員と落としどころを考えておく。
- ・事前に掲示をして、個々の考えをつかんでおくこともできる。

本校の目指す資質・能力

課題発見・解決力 コミュニケーション力 やりぬく力 思いやり